

# 育てよう一人

### 身近なことから人権を考えてみませんか

12月10日は、昭和23年国連総会で、「世界人権宣言」が採択されたことを記念して「人権デー」と定められています。その「人権デー」を最終日とする一週間が「人権週間」です。「世界人権宣言」の意義を訴え、人と人のつながりの大切さや、人権意識の向上を図るため各地で行事が行われます。本町においても、12月4日から10日までを人権週間とし、「育てよう一人一人の人権意識」を身近なことから人権を考えてみませんか」を平成14年度啓発活動の重点目標に、講演会やイベントを行います。

## 「人権を考える町民のつどい」

町では、人権週間行事として「人権を考える町民のつどい」を開催します。

分自身を見つめるきっかけをつくっていただきたいと思えます。

とき 12月8日(日)午後1時30分～同4時(講演終了後、講師を囲んで交流会を開きます)

ところ 中央公民館

内容 勇気がでてる人権学習

講師 大阪市立住吉人権文化センター白井俊一さん  
託児希望者は、12月3日まで

## 特設人権相談所を設置

神戸地方法務局伊丹支局と伊丹人権擁護委員協議会では、「第54回人権週間」行事の一環として、下記のとおり特設人権相談所を開設します。

日常生活で不当な差別を受けたなどの人権問題(名誉・信用、差別、私的制裁、いやがらせ、いじめなど)でお悩みの方はお気軽にご相談ください。相談内容などの秘密は厳守します。

とき 12月9日(月)午後1時～同4時  
ところ 日生住民センター  
相談料 無料  
問い合わせは、木津総合会館(768-0217)へ。

# 人権意識



昨年行われた人権を考える町民のつどいの様子  
今年12月8日開催の講師 白井俊一さん

## コンサート「くらしのなかの音楽と人権」

人権啓発活動北阪神地域ネットワーク協議会では啓発事業としてコンサートを行います。

とき 12月5日(木)午後2時～同4時

ところ 伊丹アイフォニックホール

内容 コンサート「くらしのなかの音楽と人権」

出演者 松本城州夫とアンサンブル・コーレ  
入場料 無料  
手話通訳あり  
問い合わせは、伊丹市自治人権部同和人権室同和施策担当(784・8077)へ。

## 猪名川町警察官表彰

町の治安維持や交通安全などに多大な貢献のあった警察官を表彰する警察官表彰が、11月22日町役場で行われました。受賞者は、川西警察署の次の2人です。

### 後藤 義孝 巡查部長

平成10年3月12日川西警察署に配置となり、以来、生活安全課保安経済係主任として、消防法違反事件、狩猟法違反事件、リンチ事件、廃掃法違反事件の検挙といった数々の実績を挙げ、地域に密着した警察活動を展開し、安心で安全なまちづくりに寄与されています。

### 長坂 彰 巡查長

平成9年10月9日川西警察署に配置となり、日生中央交番ブロックの大和交番で勤務されています。空き巣狙い、オートバイ盗、自転車盗などの事件を数多く解決するなど、住民の不安を解消し犯罪のないまちづくりに寄与されています。



後藤巡查部長(左)と長坂巡查長(右)

## 秋の叙勲(喜びの声)

### 武内 正幸さんに 勲六等単光旭日章

武内さん(若葉・72歳)は、40年間にわたり、旧運輸省の船舶職員として勤務されました。昭和56年より海洋汚染等の調査観測船の初代船長として、海洋環境整備事業の推進に努められました。「日本で初の調査観測船の船長となり、苦労は絶えなかった。これまでの功績が認められとても嬉しいです。」と笑顔で喜びを語られました。



### 今西 晋吾さんに 勲六等瑞宝章

今西さん(松尾台・70歳)は、45年間にわたり大阪府庁で勤務されました。特に、万国博覧会・全国植樹祭・花博など国際的なイベントにも、率先垂範事業の遂行に努められました。「地道に務めたことが、今回の受賞につながったものと思います。」と控えめに喜びを語られました。



## 人権作文

私にとって友だちは...。そう思ってたけど、友達と...。前回は、Aくんの事を、イヤな人!とか、きらいって思ってたけど、ぜんぜんそんなふうに思わなくなった。なんか話し合ってた、気持ち良かったし、思ってた事もわかったと思う。自分はよく、「誰かがさー、なんかこんな事いつてきたんだあ...。」とおちこんだりしてたけど次の日になると気持ちもわかって、いつもどおりの生活にもどってる。それに、友だちとかが、「あの子イマイってきた!」っていつてたら自分

も「そうなの?」と聞いて「ふうん。」となつとくするけど、でも、あの子はこんなイヤ所があるんだ。この子は、こんなやさしい所があるんだな...。そう思うようになった。6年生になった時はそんなふうにした事なかったのに...。どうしてかなあ。と思うと、「あつ、そうか。自分のいい事だつてけつこつ言えるようになってきたし、それに、自分はたまに、けんかをするけど、友だちのいい所をわかってるからかなあ。」と思う。Bちゃんの事だつてイヤとかキライとかそういうふうになってた自分が、同じ班になってそんな事などあまり思わなくなった気がする。「あつ自分だつてこんなこと

### 私にとって友だちとは

されたらイヤだなあ。」と思えるようになった。5年生では、あまりできなかったが協力だつてできるよになつた。たまには、協力してほしかった!とか思う時だつてあんなに、みんなできるよになつた。仲が悪かったクラスが、けつこつ仲のいい友だちになつてきた。私は、友だちに対してのたいどもかわつた。私にとって友だちとは、ただ、仲がいいだけじゃなくって仲がいいからこそ協力をし合えるようになったし、心と心がわかり合えるようになってきたんだと思う。まだ、心と心がわかり合えるクラスになるには、時間がかかりそうだけど、一人一人が協力し合って人の気持ちが大切だという事

がわかってきた。友だちを大切に思えるようになってきた。5年生の時はイジメとか物をかくすとか、大キライ!とかばつかり言つてた私だけど、6年生になって、班がえして、未成年の主張もやって、自分の気持ちもはっきり言えるようになって、だいぶかわつた。でも、もっと大切にすることを思っているし、協力もまだまだ必要だと思う。私は、きつとまだまだ友だちをきつたり泣かしてしまつたりするかもしれないけど、そういうときはあやまつて、友だちの大切さをもっとわかり合えるようにがんばりたいと思います。  
中谷中学校1年 鈴木愛美さん(阿古谷小学校6年のときの作品)